

学習面に関する困難を調べる項目

「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」、「計算する」、「推論する」の6領域に、各5問ずつ計30項目から構成される。それに対して、0：ない、1：まれにある、2ときどきある、3：よくあるの4段階で回答する。各領域ごとに合計点を出し、12ポイント以上の領域が一つでもあれば、「学習上に困難があり、何らかの支援が必要な児童生徒」と判断する。

		ない	まれにある	ときどきある	よくある	領域合計
聞く	・ 聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える）	0	1	2	3	
	・ 聞きもらしがある	0	1	2	3	
	・ 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	0	1	2	3	
	・ 指示の理解が難しい	0	1	2	3	
	・ 話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）	0	1	2	3	
話す	・ 適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す、とても早口である）	0	1	2	3	
	・ ことばにつまる	0	1	2	3	
	・ 単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をしたりする	0	1	2	3	
	・ 思いっくままに話す等、筋道の通った話をするのが難しい	0	1	2	3	
	・ 内容を分かりやすく伝えることが難しい	0	1	2	3	
読む	・ 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える	0	1	2	3	
	・ 文中の語句や行を抜かしたり、又は繰り返し読んだりする	0	1	2	3	
	・ 音読が遅い	0	1	2	3	
	・ 勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）	0	1	2	3	
	・ 文章の要点を正しく読み取ることが難しい	0	1	2	3	
書く	・ 読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない、まっすぐに書けない）	0	1	2	3	
	・ 独特の筆順で書く	0	1	2	3	
	・ 漢字の細かい部分を書き間違える	0	1	2	3	
	・ 句読点が抜けたり、正しく打ったりすることができない	0	1	2	3	
	・ 限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書けない	0	1	2	3	
計算する	・ 学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい（三千四十七を30047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている）	0	1	2	3	
	・ 簡単な計算が暗算できない	0	1	2	3	
	・ 計算をするのにとても時間がかかる	0	1	2	3	
	・ 答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい（四則混合の計算、二つの立式を必要とする計算）	0	1	2	3	
	・ 学年相応の文章題を解くのが難しい	0	1	2	3	
推論する	・ 学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい（長さやかさの比較、「15cmは150mm」ということ）	0	1	2	3	
	・ 学年相応の図形を描くことが難しい（丸やひし形などの図形の模写、見取り図や展開図）	0	1	2	3	
	・ 事物の因果関係を理解することが難しい	0	1	2	3	
	・ 目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい	0	1	2	3	
	・ 早合点や、飛躍した考えをする	0	1	2	3	

行動面に関する困難を調べる項目

「不注意」、「多動性—衝動性」に関する各9項目、計18項目から構成される。リストでは交互に並べてある。それに対して、0：ない、もしくはほとんどない、1：ときどきある、2：しばしばある、3：非常にしばしばあるの4段階で回答する。回答の0、1を0点、2、3を1点に換算し、少なくとも下記の一つの群で該当する項目が6ポイント以上であれば、「行動上に困難があり、何らかの支援が必要な児童生徒」と判断する。

「不注意」、「多動性—衝動性」	ない、ほとんどない	ときどきある	しばしばある	非常にしばしばある	換算点
1 学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする	0	1	2	3	
2 手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする	0	1	2	3	
3 課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい	0	1	2	3	
4 授業中や座っているべき時に席を離れてしまう	0	1	2	3	
5 面と向かって話し掛けられているのに、聞いていないようにみえる	0	1	2	3	
6 きちんとしていなければならない時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする	0	1	2	3	
7 指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない	0	1	2	3	
8 遊びや余暇活動に大人しく参加することが難しい	0	1	2	3	
9 学習課題や活動を順序立てて行うことが難しい	0	1	2	3	
10 じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する	0	1	2	3	
11 集中して努力を続けなければならない課題（学校の勉強や宿題など）を避ける	0	1	2	3	
12 過度にしゃべる	0	1	2	3	
13 学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう	0	1	2	3	
14 質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまう	0	1	2	3	
15 気が散りやすい	0	1	2	3	
16 順番を待つのが難しい	0	1	2	3	
17 日々の活動で忘れっぽい	0	1	2	3	
18 他人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする	0	1	2	3	

奇数番目の設問群（不注意）換算点合計 （ ）

偶数番目の設問群（多動性—衝動性）換算点合計 （ ）

行動面に関する困難を調べる項目

「対人関係やこだわり」等に関する各27項目から構成されている。それに対して、0：いいえ，1：多少，2：はいの3段階で回答する。該当する項目が22ポイント以上であれば，「行動上に困難があり，何らかの支援が必要な児童生徒」と判断する。

「対人関係やこだわり」等	いいえ	多少	はい
・ 大人びている，ませている	0	1	2
・ みんなから，「〇〇博士」，「〇〇教授」と思われている（例：カレンダー博士）	0	1	2
・ 他の子どもは興味をもたないようなことに興味があり，「自分だけの知識世界」をもっている	0	1	2
・ 特定分野での知識を蓄えているが，丸暗記であり，意味をきちんとは理解していない	0	1	2
・ 含みのある言葉や嫌みを言われても分からず，言葉どおりに受け止めてしまうことがある	0	1	2
・ 会話の仕方が形式的であり，抑揚なく話したり，間合いが取れなかったりすることがある	0	1	2
・ 言葉を組み合わせて，自分だけにしか分からない造語を作る	0	1	2
・ 独特な声で話すことがある	0	1	2
・ 誰かに何かを伝える目的がなくても，場面に関係なく声を出す（例：唇を鳴らす，咳ばらい，喉を鳴らす，叫ぶ）	0	1	2
・ とても得意なことがある一方で，極端に不得手なものがある	0	1	2
・ いろいろな事を話す，その時の場面や相手の感情や立場を理解しない	0	1	2
・ 共感性が乏しい	0	1	2
・ 周りの人が困惑するようなことも，配慮しないで言うてしまう	0	1	2
・ 独特な目つきをすることがある	0	1	2
・ 友達と仲良くしたいという気持ちはあるが，友達関係をうまく築けない	0	1	2
・ 友達のそばにいるが，一人で遊んでいる	0	1	2
・ 仲のよい友人がいない	0	1	2
・ 常識が乏しい	0	1	2
・ 球技やゲームをする時，仲間と協力することに考えが及ばない	0	1	2
・ 動作やジェスチャーが不器用で，ぎこちないことがある	0	1	2
・ 意図的でなく，顔や体を動かすことがある	0	1	2
・ ある行動や考えに強くこだわることによって，簡単な日常の活動ができなくなることがある	0	1	2
・ 自分なりの独特な日課や手順があり，変更や変化を嫌がる	0	1	2
・ 特定の物に執着がある	0	1	2
・ 他の子どもたちから，いじめられることがある	0	1	2
・ 独特な表情をしていることがある	0	1	2
・ 独特な姿勢をしていることがある	0	1	2

ポイント合計（ ）